

福祉レクリエーション用品一覧

※問い合わせ・申込は、城南区社協事務所（電話832-6427）へ

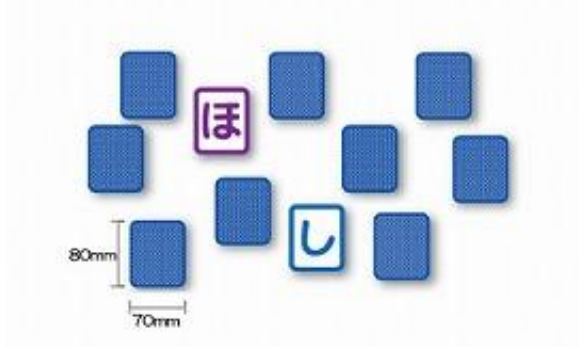
1. あいうえおカード （2セット）

「あいうえお」の50音が描かれた単純なカードのため、いろいろな遊びが考えられますが、ここでは「言語神経衰弱」と「なにぬねの並べ」をご紹介します。

他にもカードを並べて言葉を作った後、その言葉が判らないように順序を並びかえ、他の人が、正しく並べなおすというゲームなどが考えられます。

「言語神経衰弱」

裏返しですべてのカードを自由に並べておき、自分の順番がきたら、カードを2枚表にひっくり返し、言葉になればとることができ、言葉になっていなければ元に裏返すという遊びです。2枚でなく何枚開いても言葉になればとってよい、というルールでやることもできます。



「なにぬねの並べ」

7並べの「あいうえお」版で、7の代わりに「な」行の「なにぬねの」のカードを縦に並べておき、自分の順番がきたら、その左右につながる文字のカードを出して並べていく遊びです。カードは横列で同じ色になっています。「ん」の文字が2枚ありますが、ジョーカーと同じ使い方をします。



2. 唱歌カルタ (2セット)

50年以上前の唱歌の情景を描いた40枚のカルタで、童謡から歌曲までを幅広く選曲しています。

読み札の代わりにCDで流れる曲のメロディを聞き、歌詞を思い出し、その歌の情景と歌い出しの頭文字を描いてあるカルタを見つけ出してとります。

カルタをとったら、皆で楽しく歌います。

(効果)

- 曲を聞き、情景を思い浮かべ、曲と絵に感動することにより右脳を刺激します。
- どこにどんな曲の絵・歌い出しの頭文字のカルタがあるか、空間認識して覚えておき注意分配し、流れるメロディに素早く反応してとることで、右脳、前頭葉を刺激します。
- 歌の情景と歌い出しの頭文字の両方に注意を分配することで、前頭葉を刺激します。(「あ」などの頭文字が数多くあり、文字のみにとらわれるとお手つきになります)
- みんなで楽しく歌うことにより、右脳を刺激します。
- 脳活性化ゲームの初めに使うと、無表情な人にも笑み浮かび、相互交流でき、効果的です。



←CD

↑カルタ



3. 思い出カルタ (1セット)

懐かしい日本の童謡や唱歌50曲をカラフルな絵柄のカルタにしました。曲の前半が読み札、後半が絵入りの取り札です。普通の遊び方だけではなく、「歌合わせ」「動物めぐり」なども楽しめます。



51-350

4. 動物絵あわせ (2セット)

動物絵あわせは、昭和初期に誕生したカードゲームです。(当時は子どもの遊びとして定着していたものなので) 現在の高齢者の方々のほうがよく知っているゲームともいえます。動物の絵を3区分したカードを使い、よく混ぜて各自に配ります。(人数は3人以上で遊べますが、もっとも楽しいのは4~6人くらい) その後、順番を決めて自分のほしいカードを持っていき、そうなる人を指名しながら、動物を完成させていくゲームです。慣れてくるとだんだん相手も持っているカードが読めるようになり、それがこのゲームの最大のおもしろさでもあります。

別な使い方もでき、例えば、一度に3枚をめくる神経衰弱、4チーム前後で行うときのスキヤキジャンケンカードの代用としても使えるでしょう。



5. 喉トレ健康かるた【NEW!】

「交流が生む健康で、元気な社会を創りたい！」という思いから、介護予防レクのアイテムとして誕生しました。勝ち負けを競う従来の遊びだけでなく、各札のお題に参加者が一丸となって挑戦しながら親睦を深める新感覚カルタです。



6. ゲームレール (1セット)

ボールを転がして、ボールの止まったところのランプの点数を競います。カードの位置を変えたり、枚数を変えたりするだけでもゲームに変化が生まれます。ゲームが単純である分、いくらでもアレンジできます。偶然性が高いので、能力差がみられないのも特徴の一つといえます。



7. ダーツ (2セット)
(サイズ:縦47cm、横41cm)
マグネット式の小さなダーツです。



8. シルバー川柳かるた (1セット)
シルバー川柳の掲載作品によるかるたです。
ユーモアにあふれた読み札を聞きながら、
その情景にあった絵柄のかるたを取る遊びです。



9. おくすりかるた (1セット)
薬の正しい使い方、薬を飲むタイミング、
薬の種類や最近の薬剤師の仕事などについての
内容からなっています。楽しみながら薬の
正しい知識について知ってもらえるようにと、
九州保健福祉大学の学生が卒業研究の一環として
作ったものです。



10. ラダーゲッター

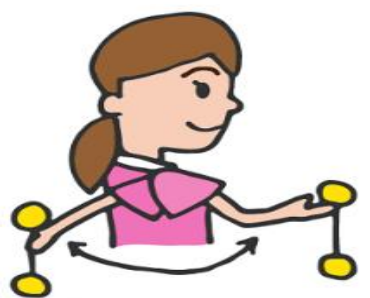
「ラダーゲッター」は、あらゆる年齢層で楽しめるニュースポーツです。ルールは簡単で、ヒモでつながっている2個のボールをラダー（ハシゴ）に向かって投げ、ボールがラダーに引っ掛かるとポイントになります。



〈簡易ルール〉

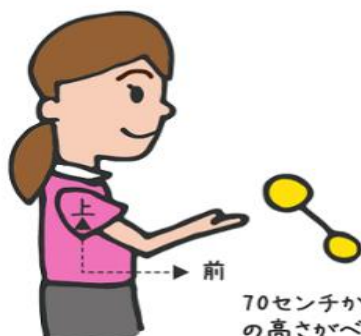
3本のラダーには、1,2,3点とポイントが表示されており、それぞれのラダーに引っ掛かったボールの数で得点を競います。

- 腕全体を前後に動かしてボールをしっかりとゆらして…



手だけで投げると曲がってしまうことが多い

- からだより前で、腰より上でボールをはなす!



70センチから1メートルの高さがベスト!



11. 点鳥ルーレット

赤い玉の部分を手ハンマーで叩くと軽やかな鈴の音とともに風見鶏が得点を告げてくれます。どこに止まるかわからないドキドキ感はルーレットそのもの。

また、様々にアレンジしやすいのも特徴のひとつ。

シートの上に置くカードを工夫したり、お金のかわりになるポーカーチップや商品のお菓子などを置いてみるのも楽しい使い方ですね。



12. スカットボール

ゲートボールと同様のスティックを使って、的となる台の穴にボールを入れるスカットボール。

穴に特殊なカーブがつけてあるので、狙ったところに入りそうで入らないこともあり、ボールを打つ人も見ている人もハラハラドキドキ、笑いが起こるゲームで、「スカットする」と人気です。

子どもたちと高齢者との交流行事などにも最適です。

